

本格的な寒さがやってきました。子どもたちは北風にも負けず、元気に外遊びを楽しんでいます。

インフルエンザや感染症胃腸炎、コロナウイルス感染症、風邪からの発熱・咳、などがみられる季節になりました。毎日の検温、顔色、咳などの体調確認を行いさらにうがい・手洗い、咳エチケットで、引き続き感染予防をしながら、元気に過ごして行きましょう。

おなかのかぜ、しっかり消毒、しっかりブロック!



ウイルス性胃腸炎を起こすノロウイルスやロタウイルスには、アルコール消毒が効きません。おう吐物や下痢のうんちが付いた衣類や床は、必ず塩素系消毒液で消毒しましょう。塩素系消毒液は、酸性の製品やアルコールなどと混ざると、有害なガスが発生して危険です。必ず単独で、水で薄めて使用してください。

しっかり準備



使い捨ての手袋とマスクを着け、ポリ袋、ペーパータオルなどを用意します。消毒液は適切な濃度に薄めておきましょう。窓を開けたり、換気扇を回したりして、換気します。

きっちり消毒

ペーパータオルや雑巾で、おう吐物を取り除きます。

● 衣類は

消毒液につけて消毒するか、85℃以上の熱湯に1分間つけてから、ほかのものと分けて洗濯します。

● おう吐物が付いた床や家具

消毒液を浸した雑巾でふき取り、その後、水ぶきします。

インフルエンザと診断されたら……

インフルエンザは、症状が重くなりやすく、体力を消耗します。回復するまでしっかり休むことが大切です。登園再開には、①と②の両方を満たしていることが必要です。また、登園前に、かかりつけのお医者さんに、登園できるまで回復しているか確認をお願いします。

①

発症した後
5日経過していること

②

熱が下がってから3日
経過していること
(熱が下がった翌日から数えて3日)



パターン1 热がすぐ下がった場合

発症の翌日に熱が下がった場合、発症から5日経過するまで休みましょう。

パターン2 3日後に熱が下がった場合

発症から5日後、たとえ熱が下がっていたとしても、解熱した翌日から数えてまだ2日目なので、もう1日お休みしましょう。

心配な インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一、下のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

こんな症状は脳症かも?

- けいれんが5分以上続く
- けいれんを繰り返す
- 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- ずっと寝続けている

